

第126回南あわじ市議会定例会議事日程（第4号）

令和6年6月18日（火）午前10時開議

第1 一般質問

第2 議案第62号 南あわじ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

第3 議案第63号 物品売買契約の締結について（消防ポンプ自動車）

第4 議案第64号、議案第65号（2件一括上程）

議案第64号 財産の取得について（神戸大学大学院海事科学研究科海洋実習施設）

議案第65号 損害賠償額の決定及び和解について

第5 請願第1号 ガザ地区の人命保護および即時停戦を求める決議についての請願

一 般 質 問

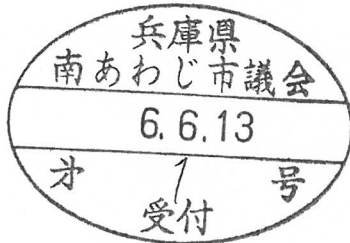
(令和6年6月18日)

発言順	内 容	氏 名
11	1. ご意見箱の効果について 2. 防災・減災への取組強化について 3. プロモーション事業について 4. 地域スポーツについて	北 条 志 津 子
12	1. まちづくりについて 2. アフターコロナについて 3. 青少年健全育成について	原 口 育 大
13	1. 学校教育について 2. 発達障害への支援策は	土 井 巧
14	1. 水仙郷、今後の運営計画と費用対効果について 2. 神戸大学大学院海事科学研究科海洋実習施設購入について 3. 温泉開発と利用について	長 船 吉 博

第126回 南あわじ市議会定例会

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第1号
受 理 年 月 日	令和6年6月13日
件 名	ガザ地区の人命保護および即時停戦を求める 決議についての請願
請 願 の 要 旨	別紙写しのとおり
請願者の住所 及 び 氏 名	南あわじ市
紹 介 議 員	長 船 吉 博
付 託 委 員 会	総務文教常任委員会



2024年6月2日

南あわじ市議会

議長 印部久信 殿

請願者 住所 南あわじ市

請願者 氏名

紹介議員 長谷川 吉博

ガザ地区の人命保護および即時停戦を求める決議についての請願

請願の趣旨

パレスチナのガザ地区は、長さ50km、幅5-8kmほどの細長い土地に約200万人が住む、世界でもっとも人口密度が高い場所の一つです。高さ8mにもなる壁でイスラエル軍に完全包囲され、人や物の出入りが厳しく制限されているため、燃料や食糧、日用品、衣料品などが慢性的に不足し、人々は国連や支援団体からの援助物質によりかろうじて命をつないでいる状態です。

2023年10月7日のハマスによるイスラエルへの大規模攻撃および人質事件に対して、イスラエルによる報復措置が始まりました。これは、一般市民という定義を無視し、国際人道法のあらゆる基準(病院や学校は攻撃しないなど)を無視し、現在も続けられており、すでに33,000人以上が犠牲になり、このうち14,000人が子供という異常な状況です。

今年1月26日、国際裁判所(ICJ)は、ガザ地区においてジェノサイドが進行している可能性を認識し、パレスチナ人に対してジェノサイド条約によって保護されるべき権利があると指摘しました。しかし、その後も犠牲者は増える一方で、難民のさらなる迫害が発生しています。2月初旬に期待された停戦も合意されず、出国が認められなかったり、人道支援ルートもほぼ閉鎖されている上に、食糧支援トラックが爆破されたり、支援を待つ人々への攻撃も行われるなどして、人口の7割以上が壊滅的なレベルの飢餓に苦しんでいます。この4月5日には人道支援活動を行っていた慈善団体「ワールドセントラルキッチン(WCK)」の職員7人がイスラエル軍による空爆で殺害されました。

双方の自衛権の尊重や人質の早期解放、長期的な政治的な解決はもちろんですが、今すぐ一般市民の犠牲を止めるべく、停戦の呼びかけや負傷者や難民の救済は、道徳的義務として必然です。パレスチナとイスラエルの長きにわたる争いに対し簡単に結論を出すことはできませんが、今行われていることは、ヒトラー率いるナチスが行ったユダヤ人絶滅を彷彿とさせるジェノ

サイドであり、民族浄化です。世界でも停戦を求める声が高まっており、日本国内でも300を超える地方議会が停戦を求める決議・意見書を採択しており、兵庫県内においても、昨年12月に西脇市議会が、今年1月には淡路市議会が、そして2月には神戸市議会が決議しており、多数の市町で陳情が出され、他の市町もこれに倣って6月の議会で決議しようとしています。貴議会におきましても同様に決議をお願いします。

（請願事項）

「ガザ地区の人命保護および即時停戦を求める決議」を南あわじ市議会でしていただくこと。